

第6次鳥取市行財政改革大綱における総合目標の達成状況について

※成果の最終検証時期は平成30年度末

目標1. 税収254億円以上の実現（平成25年度：231.2億円）

平成26年度	233.3億円（目標値比：△20.7億円）
平成27年度	229.4億円（目標値比：△24.6億円）
平成28年度（見込）	230.0億円（目標値比：△24.0億円）

【目標設定時（平成25年度）比：税収推移の要因】

地価下落の影響による固定資産税（土地・家屋）、法人市民税（法人税割）の税率変更による減少。

【今後の取り組み】

「足腰の強い地場産業の実現」を最優先事項に掲げ、多業種の企業誘致の推進はもとより、地場産業の強化を図り、企業の高付加価値化・生産性の向上につなげ、個人所得・企業収益の拡大、雇用機会の創出を図ります。

目標2. ふるさと寄附金4億円以上の実現（平成25年度：1.2億円）

平成26年度	2.4億円（目標値比：△1.6億円）
平成27年度	3.5億円（目標値比：△0.5億円）
平成28年度（見込）	3.8億円（目標値比：△0.2億円）

【目標設定時（平成25年度）比：寄附金増の要因】

ふるさと寄附金による税額控除の拡充、返礼品の充実（平成25年度：60品目→平成28年度：153品目、10万円以上の寄附をされた方に「似顔絵※」を進呈）、Web広告の実施等。

※似顔絵国際大会の優勝経験があり、現在は鳥取市で活躍する似顔絵画家「宮本栄一」氏による

【今後の取り組み】

ふるさと寄附金ポイント制度の導入や、制度移行に伴うプレゼント企画競争の活発化により、更なる寄附金増を目指します。

目標3. 15歳以上40歳未満の転出者数を転入者数の範囲内に収める（平成25年中：681人の転出超過。） ※市全体の転出超過数（705人）

平成26年中	335人の転出超過	※市全体の転出超過数（325人）
平成27年中	499人の転出超過	※市全体の転出超過数（530人）
平成28年中	394人の転出超過	※市全体の転出超過数（412人）

【目標設定時（平成25年中）比：転出超過減の要因】

鳥取環境大学の公立化（平成24年度）、鳥取市医療看護専門学校開校（平成27年度）、移住定住支援策による移住者数増（平成26年度351人、平成27年度326人、平成28年度（見込）152人）、移住・交流情報ガーデンの開設（平成28年1月）、誘致企業数の増等。

【今後の取り組み】

Uターン支援登録制度を活用した継続的な情報提供や、平成29年4月10日にオープンする関西情報発信拠点「麒麟のまち」を活用した移住相談会の開催など、UJIターンの増加につなげる取り組みにより転出超過減を図ります。